

## 地域資源を掘り起こす視点

今回は、「まち歩き」を実施する前に『まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会』事務局長の東川美和さんに“地域資源を掘り起こす視点”についてお話を伺いました。

「かごしま探検の会」では、次々に地域資源が失われていることや地域資源が生かされることなく埋もれていることが「もったいない」という思いから、地理や歴史の観点から鹿児島の昔・今・これからを考える活動を展開しており、“世間遺産” “人間僕宝”といったユニークな取り組みも行っています。

### まち歩き探検のポイント

- ① 視点が違うと見えるものがちがってくる
- ② あたり前と思うものがおもしろい
- ③ 歴史に由来するものがおもしろい
- ④ 少しでもおやつと思ったらみつめてみる



事務局から「まち歩き」出発前の心構えや着眼点、まち歩きでの発見対象の一例を紹介しました。

出発前の心構え	着眼点
<p>★意識してみる 普段見慣れたものでも改めて意識してみる ⇒五感を大切に (見えるもの、聞こえるもの、匂い、味わい、触れる)</p> <p>★自分と違った立場でもみる 観光客、子ども・お年寄り、子育て世代などの多様な立場でみる</p>	<p>☆保全要素 ・将来にわたって残したいもの ・まもり、育てていきたいもの</p> <p>☆改善要素&lt;除却・活用・付加&gt; ・除却することによくなるもの ・使い方を見直すことでよくなるもの ・新しく付け加えることでよくなるものなど</p>

### 【まち歩きでの発見対象】…保全要素(お宝)を中心とした一例

景観(風景)、自然、緑の資源	自慢できる美しい自然、美しい景観／癒される景色／眺望ビューポイント／生け垣の花や緑のアレンジ／シンボルツリー(巨木)、雑木林／野鳥・昆虫の生息地／湧水地、川、小鳥の鳴き声、川のせせらぎなど
歴史資源	歴史的建造物、文化財、史跡／歴史ポイントに関わるエピソードなど
街並み、道並み資源	蔵、石塀／近代建築／武家屋敷の名残を残す門扉／沿道花壇／建築の形(屋根や壁)・高さ、色／お店のお洒落な看板／バス停・ベンチ／サイン・案内板／照明灯／のぼり、のれん／ごみ集積場など
集いや憩い	市場や商店の賑わい、物品販売所、市の立つ場所／公園や広場、オープンスペース／地区で開かれる定期的なイベント、まつりの場など
食べ物・味覚	お店自慢の品、お洒落な店、物品販売所など

### 次回（第3回）の予定

日 時：2月27日（水）18:30～

場 所：かごしま市民福祉プラザ

内 容：『これからのまちづくりを考えよう！』をテーマに、これまでに抽出した「宝・魅力」をまちづくりに活かす方法や今後の進め方などについて話し合います。



# 鹿児島まちづくり活動ニュース Vol. 2

編集・発行／鹿児島駅周辺まちづくりワークショップ事務局  
(鹿児島市 都市再開発課 TEL 099-216-1388)

## 鹿児島駅周辺まちづくりワークショップ が開催されました！

第2回



### 当日の次第

1. 開会
2. 座学 “地域資源を掘り起こす視点”  
講師：東川美和 氏  
(NPO法人まちづくり地域フォーラム  
・かごしま探検の会 事務局長)
3. ワークショップ  
テーマ『まちの宝を発見しよう！』  
Step 1：まち歩き  
Step 2：タウンマップづくり
4. 閉会



### 鹿児島駅周辺まちづくりワークショップとは

まちづくりの主役である地域住民等が行政と密に連携しつつ地域が主体となった実行力の高いまちづくりに向けて、地域の価値や問題点を共有した上で、まちづくりの指針となる「まちづくりガイドライン」の作成に取り組む場です。

# まち歩き・ワークショップ作業の概要

## Aグループ

- 地域を良く知る方が地域の良いところや魅力を紹介し、まちづくりにどう活かしていくか等を話し合いながらまち歩きを行った。



### 《主な意見》

- 地域の資源として、昭和レトロの風情を残す名山堀周辺、観光的な利用ができるNHKビル、マンボウの泳ぐ水路等のウォーターフロント、ふれあいのある庶民的なお店、魅力ある散策コースなどの多様な資源が存在。
- 資源の活かし方や改善方策としては、民間遊休施設をディケアセンター・キッズランド（保育施設）のような老若男女の交流の場として活用することや一方通行の解除、市電の新規路線、屋台の導入等が提案された。
- 人と人の結びつきが強い「人のあたたかさを感じる街」を本地域の将来像にしていきたい。

など



## Dグループ

- 役割分担を行い、全員で気づいた点をメモしながらまち歩きを行った。途中、「上町市場」ではお店の方の話を聞くことができた。



### 《主な意見》

- まち歩きを通じて、知らないものがたくさんあることに気づいた。まずは地元の人が地元のことを知ることが大切。
- 石垣や長屋、上町市場など昔ながらのものが残る一方でマンションの建設が進んでおり、古いものと新しいものが混在したまちである。古いものをうまく活かしていくために知恵を出さないといけない。
- 車のための道路になっており、歩くための道路になっていない。親子や車椅子が通れるくらいの幅は確保する必要がある。



## Bグループ

- 名山堀や隠れた記念碑、美味しいお店、絶景ポイント等を参加者が紹介し、裏通りで起きていく変化等を確認しながらまち歩きを行った。



### 《主な意見》

- 昭和の風情を残す名山堀の再整備や鹿駅周辺における土地利用の促進。
- みなし通り公園での更なるイベント開催や、易居町商店街、滑川市場における朝市の開催。
- 地区に点在する歴史的な資源、美味しいお店をネットワークできるようなマップ作りや、観光ガイドによる“回遊性”的強化。
- 桜島の景観を楽しんだり、散策する際に休憩できるようなベンチやカフェテラスの整備。
- 商店街や住宅地の通りにもっと緑や花を増やし、潤いのある空間を形成。など



## Cグループ

- 参加者相互で知っていることを語り合ったり、南洲神社、鹿児島県民教育文化研究所、春日神社などでは途中で会った詳しい方の話を聞いたり、知らない情報も入手しながらまち歩きを行った。



### 《主な意見》

- 対象地区は、城下町、門前町の名残でとても静かで落ち着いた雰囲気が特徴であり、全体として石垣が多く残っており、みやこ温泉や吉田葬祭の木タル池などうまく活用したい。
- 特に貴重な歴史資源が多く残された地区であり、これらをメリハリをつけて守り、活かしていくことが重要。
- 地域の人自身がその良さに気づいていないので、まずは住んでいる人から盛り上げたい。
- 地域の良さを伝えるボランティアガイドなど、人のネットワークづくりが必要。など



## Eグループ

- 普段の視点だけでなく、他の人が見た時の視点などから話し合うとともに、途中で会った住民の方に話を聞いたりしながらまち歩きを行った。



### 《主な意見》

- 玉龍高校西側岩壁に掘られた観音様やキリスト墓地、島津家ゆかりの地などの歴史的遺産について、説明や案内が不足しており、看板等の設置や修繕が必要である。そのような活動を通して地域の宝を再認識し、また訪問者への心遣いも醸成していくことが大切。
- 福昌寺跡など歴史的遺産までの道が狭く、大型バスでアクセスできない状況を改善する。
- 五社参りを地域の行事として復興させ、郷中教育の精神を取り入れて子供達の精神修養に役立てる。
- 住宅街の鉢植え（花）や石垣など街並みの彩りづくりのルールを自治会で検討したり、通りに名前を付けて愛着を育み来訪者にアピールする。など



## Fグループ

- ポイントとなる場所や発見・疑問等については参加者相互で教えあうとともに全員で確認しながらまち歩きを行った。



### 《主な意見》

- 清水町の名前の由来でもある仁王堂水や稻荷川など豊かな水がある地区であり、住民の憩いの場や様々な生き物が生息していることから保全や活用が考えられる。
- 公共空地を活用した大規模な駐車場を整備することで、観光客などが点在する史跡や名所を散策できるような仕掛けづくりができるのではないか。
- 古い住宅地等では、崩壊の危険がある石積みなどもあり、防災的な改善が必要な箇所もある。新たに開発・整備すべき場所とまち並みを保全しながら改善していく場所などの棲み分けが必要。など